

努力は運を支配する 教頭 瀬川 浩



宿澤広朗という人物を知っているだろうか。

早稲田大学ラグビー部で選手として監督として、さらに日本代表監督を務めた人である。卒業後は現三井住友銀行にて取締役専務執行役員を務めた文武両道に秀でた人でもある。

大学1年生よりレギュラー、3年生の時の日本選手権対三菱重工京都の試合で残り3分早稲田が蹴ったボールが、ボールの方から彼の手に入り、そのまま相手陣地ヘトライ、奇跡の逆転ドラマを演じ、日本一になった。

インタビューで宿澤に記者は「運が良かったですね」と言葉を発した。それに対し宿澤は、「いいえ努力が運を支配したのです」と答えた。次の日の新聞にも『ラッキーバウンド』の文字が飾られていた。勝利を運・不運でとらえるのは簡単だが、毎日の努力が一番大事なところで実ったのだ。いつ、訪れるかわからないチャンスをもにできるかどうかは、その人の努力によるものであると、当時の日比野監督は言っている。

さて、リオデジャネイロオリンピックでは41個のメダルを獲得した。多くの感動の中で女子レスリング、登坂絵莉『振り返るとやみくもに仕掛けたわけではない。守勢に回った相手のスキを見逃さなかった。絶体絶命の中、体が勝手に反応した』と言っている。残り5秒の起死回生の逆転劇であった。運・不運を語る事は出来ないが、努力の結果であるのは確かである。

初めから『難しくてできない』『絶対無理』行動を起こす前に、可能性を考えてだけで、結果を決めていないだろうか。努力を回避し、可能性さえも否定していないだろうか。努力は1%の可能性でも何倍にも引き上げることができる。本校は、資格取得・ものづくり教育・キャリア教育を通し、生き方に見通しを付け、将来の夢実現を目標にしています。地域・保護者と一つのチームとして連携し、教育活動を展開しています。地味に努力し続けてください。努力が運を支配します。

PTA活動を振り返って PTA副会長 井筒由美子

思い起こせば入学式の日、視聴覚室で都会長だけ決まらずにいた所、PTA会長さんから「目の前の紙を裏返してください！」との言葉に裏返したらなにやらしるしが！！「しるしがついている人が当選です！」と言われ「どうしよう、やっていけるのかな」と思ったのが始まりでした。ところが高P連の研修会や懇親会、学校の行事や研修委員会に参加しているうちにいろいろな人に会いいろいろな話をしたり、どんどん楽しくなっていました。この3年間、諸先生方、PTAの役員の方々に助けていただきながら楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございました。PTA役員という場を与えてくれた子供にも感謝です。また、PTA活動に参加したことのない方は1回でもいいので参加してみてください！子供達から聞けない情報も聞く事ができますし、いろいろな方と話ができるので本当にたのしいですよ！！まだ子供が1年生にもいるので、あと2年お世話になりますが今後もPTA活動を頑張りたいと思います。



10月22日康楽館へ(高P連)

編集後記

運動会、青工祭。

生徒達と同じ時間を共有し、たくさん笑顔になりました。気持ちだけは30年前の10代の頃にタイムスリップです。青工は生徒・先生・親までがパワフルだと感じます。そんな青工らしい活きの良さが伝われば嬉しいです。(広報委員会2学年副委員長 鑑)

青工高 PTAだより 第54号



青森県立青森工業高等学校

〒039-3507 青森県青森市馬屋尻清水流204番1

TEL:017-737-3600 FAX:017-737-3601 URL: <http://www.tosei-w.asn.ed.jp/~th/>

■平成28年12月16日発行
■青森県立青森工業高等学校PTA広報委員会
TEL:017-737-0330
■印刷所:長尾印刷(株)



建築科2年 製図実習



後援会マイクロバス購入!

15年間お世話になったマイクロバスが、安全の面で更新できず、後援会で新車を購入しました。大事に長く使わせて頂きます。

運動会・ねぶた	P2~3
研究成果発表会・学校公開	P4~5
特集 専門技術の魅力に迫る	
～未来の工業技術者を育成する全7科～(後編)	P6~7
青工祭・PTA活動内容	P8~9
第37回青森県高等学校総合文化祭	P10
平成28年度県新人戦結果報告	P11
瀬川教頭より・PTA副会長より・編集後記等	P12

S U A

M C

R E



工業高校のホームページへジャンプ



最高の笑顔をつかめ 皆の手で



28年度ねぶた 蓮華寺の蛙合戦

蓮華寺の境内にたくさんの蛙が集まって鳴きたてるのでとても騒がしい。番神堂の池から大きな蛙がのっそり上がってきて、高らかにギャーギャーと鳴いた。一方、山門の外の蓮池からも、これまたひときわ図体の大きな蛙が一匹這い出て 敵方大将蛙と十分な間合いを取りにらみ合い、ギャーギャーとどすの効いた太い声で一声上げた。この一声を合図に両方の池から次から次へと、そろそろそろそろ、おびたしい数の兵隊蛙が出てきて、互いに負けてはならずと盛んに鳴きたてはじめた。大合戦はおよそ一週間ほど続いたが、やがて境内は何事もなかったように元の静けさを取り戻した。青森市ホームページ・あもり今・昔 より



「ねぶた原画」都市環境科3年 米谷瞳 作



紙貼り



色付け



青森 祭りのこえ

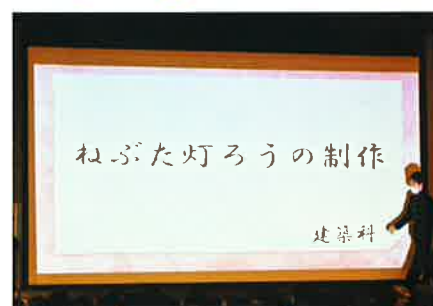
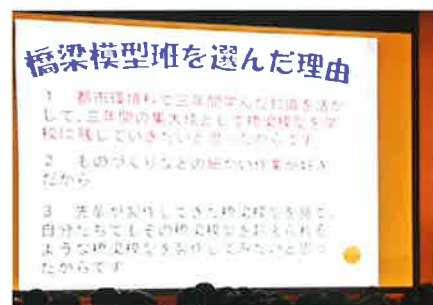
研究成果発表会

第一体育館

工業高校では3年生になると、各科とも課題研究を単位として取得することになります。（3単位）

数名ずつ班にわかれ、取り組み内容はその班によって違います。

各科の代表班がその内容を発表します。第二体育館では、発表班以外の取り組み内容が展示されます。



★今年度課題研究発見！



第二体育館



第2回 学校公開

開かれた学校づくりの推進の一環として、10月17・18日の両日、学校公開がありました。

この日は指定された時間なら自由に校内を見学できます。

保護者にとっては教室に座っての普通の授業もいいのですが、醍醐味といったら実習。

実習棟は広くて大きいです。ほんの一部ですが、実習風景をご紹介します。



機械加工実習室



CAD実習室



製図実習室



機械実習室



本日のお弁当メニュー



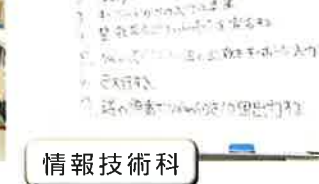
都市環境科



電子機械科



電気科



情報技術科



専門技術の魅力に迫る

～未来の工業技術者を育成する全7科～

後編



進学者が他の
クラスより多めです

プログラミングやデータベースなどのコンピュータ技術の基礎・基本となる知識と技術を学びます。また、インターネットをはじめとするネットワーク技術について詳しく学ぶことができる唯一の学科であり、今後ますます発展していく高度情報化社会に対応できる情報技術者の育成をめざしています。

情報技術科主任 高橋知義先生



取得できる代表的な資格

- ◆基本情報技術者試験
- ◆ITパスポート試験
- ◆情報技術検定試験（1級・2級）
- ◆パソコン利用技術検定試験（1級・2級）



ベットも小屋も
作れます

建築科では、建築士、建築施工管理技術者としての基礎基本の知識・技術の習得を目標に学習します。充実した設備の中で、座学の他にコンピュータによる設計（CAD）や様々なものづくりに挑戦し“技（わざ）”を深めます。

建築科主任 浅利正先生



取得できる代表的な資格

- ◆危険物取扱者試験
- ◆福祉住環境コーディネーター
- ◆レタリング技能検定
- ◆2級建築施工管理技術者
- ◆トレース技能検定
- ◆技能検定3級建築大工
- ◆建築CAD検定
- ◆小型車輛系建設機械運転技能講習



前編

機械科

電気科

電子機械科

電子科

情報技術科

建築科

都市環境科

後編

大正2年に青森市立工業徒弟学校として設立、家具科、修業年限2か年、生徒定員40名で始まった我が青森工業高校。

ものづくりに対しての取り組みは設立当時から受け継がれています。

建具科、木材工芸科、航空機科、インテリア科と時代と共に変わり、現在の形になったのは都市環境科が加わった平成23年のこと。

後編は残り3科にお邪魔して、ものづくりの現場をみせて頂きました。また、インテリア科先輩の足跡・活躍もご紹介いたします。



都市環境科は平成23年度に開設された学科で、生活に必要な社会基盤整備を行う土木関係を勉強する学科です。災害に強く安全な都市づくりを広い視野を持って創造できる人材育成と実社会で実践する技術者を育成します。

都市環境科主任 工藤裕先生



取得できる代表的な資格

- ◆測量士補
- ◆2級土木施工管理技術検定試験（学科試験）
- ◆計算技術検定試験
- ◆パソコン利用技術検定試験
- ◆初級CAD検定試験



先輩の足跡・活躍
インテリア科
（昭和48年～平成23年）

創立百周年記念ロゴマーク

応募総数 108点、二次選考62点

「100」の1は新芽をつけた樹木を表し、00は新しい生命の胎動を想像される卵をかたどったものになっています。

平成21年度
インテリア科2年 永井亜梨沙 作



「幻のそば」はインテリア科がなくなる前年の平成22年から青工祭で販売するようになり、本年まで7年続けて販売しております。また売り上げの一部は将来の青工会館建設のために寄付していただいております。



- 昭和 9年 木材工芸科設置。
 - 昭和18年 木材工芸科を廃止。
 - 昭和19年 航空機科を設置。
 - 昭和21年 航空機科を木材工芸科に転科する。
 - 昭和38年 木材工芸科を工芸科と改名変更する。
 - 昭和48年 工芸科をインテリア科と科名変更する。
 - 平成23年 インテリア科を廃科する。
- 青森工業高校ホームページ沿革概要より

次のステージへ





機械科名物焼き芋。今年で27年目。
2日間で130キロの芋を焼きました。
1回の焼き上げに1時間40分、1日4回販売。
焼きあがると数分で完売です。



ものづくり体験教室は各科で開催!!
イルミネーションLEDをつくってみよう(電子科)

女装男装
コンテスト



君の名は?



体育館に
画伯達集結



黒板アートも参加させてください



3年模擬店
M3 ラーメン 焼き鳥
R3 バラ焼き チョコバナナ
E3 焼きそば ジャがバター
C3 クレープ うどん
S3 クレープ アイス
A3 お好み焼き ハッシュドポテト
U3 せんべい汁 お汁粉

甘いのかからガッツリ肉系まで
サバ入りせんべい汁が味コン優勝!!

28年10月29日、30日
青工祭開催!!



サンドブラストでオリジナルグラス製作
こんなグラスも作れます



PTA活動内容

10月22日 県高P連研修旅行
10月13~14日 秋の交通安全指導
10月29~30日 青工祭
11月2日 県高P連健全育成研修会
11月3日 PTA研修旅行



お知らせ
青工祭PTA模擬店
で、いか焼きと肉まんの
販売をし、利益の
24,361円はユニセフ
へ寄付いたしました。
皆様のご協力に感謝
いたします。



県高P連健全育成研修会 主権者教育について

公職選挙法が改正され、現在の高校3年生から選挙権が得られ、青森市議員と連携し「よりよい青森市にするためにはどうすればいいか」を考えることで、政治に参加する意義を捉えられるような仕組みづくりで、主権者教育をスタートした。この機会に各家庭で主権者であることを話題としたい。(M3 井筒)

青工PTA研修旅行

今年も青工祭後の休日に、PTA研修旅行へ行きました。目的地は大鰐サンマルワイナリーと弘前小山せんべいです。ワイナリーでは、ワイン作りの説明をそこそこにして、県内初金賞や銀賞を受賞したワインを含む10種類の試飲を楽しみました。りんごワインも美味でしたよ。ビュッフェランチはほろ酔いのせいか、食がすすみ話がはずんで、小山せんべいへ向かうのが遅れましたが、職人さん達が快く迎えてくださいました。焼きたてのせんべいはサクサクで一味違いましたよ。寄り道した鰐COMEで名物温泉もやしや津軽藩ねぶた村のソフトクリームなどもあり、お楽しみ盛り沢山の旅行でした。(U2 新野尾)



青工祭でのPTA展示



プリザーブドフラワーとカルトナーズの展示コーナーでは、研修委員会の力作が多く、「私も参加したかったな」「家にも欲しいな」と思える作品ばかりでした。

広報委員会による、運動会やねぶたの写真展示もあります。たくさんの写真の中から気に入った写真を無料で持ち帰りいただきました。

今年見逃した方も来年は是非見に来てください。お子さんや、頑張るお母さんのいい笑顔に出会えますよ。(E2 浅利)

秋の交通安全指導



10月13、14日の2日間、秋の交通安全指導が行われました。指導場所は、まるまつ前地下道周辺、国道馬屋尻交差点、野内駅周辺の3ヶ所です。14日秋晴れの朝、野内駅周辺の交差点を通る生徒達は、腕章をつけて立っている私達に元気に挨拶をし、きちんとマナーを守って通学していました。普段はルールを守っていても「急いでいたから、つい…」ってよくありますよね。事故が起きてから後悔しても遅いので、時間に余裕を持って行動して欲しいと思います。交通安全指導は健全育成委員会と教員の皆さんで年2回行われていますが、交通ルールを再認識させる大切な活動だと思います。

朝早く指導場所に立って下さった皆さん、ありがとうございました。(C2 神)



第37回青森県高等学校総合文化祭

写真部 1/2 2年連続最優秀学校賞受賞!!



受賞者及び3年生部員

優秀賞「TONGUE(舌)」
(平成29年度全国高総文祭宮城大会出場権獲得)
情報技術科2年 佐藤天斗優秀賞「人間観察」
電子科3年 横内理人

優良賞「努力実らず」電子科3年 高橋宏河

優良賞「それぞれのいのち」電気科1年 齋藤由貴

優良賞「ラスト六魂祭」電子科2年 吉田脩人

優良賞「勝負あり」電子科2年 櫛引森之介

「TONGUE(舌)」について

情報技術科2年佐藤天斗

この作品は様々な場所で出会った動物たちが舌を出している瞬間をとらえたものです。なるべく多くの種類の動物の舌を撮るためにたくさんの場所へ足を運び、それぞれの動物が舌を出してくれるまで粘り、時間をかけて創り上げました。特に大変だったのはヤギです。草はたくさん食べてくれていたのですが、なかなか舌は出してくれず、他の動物よりも時間がかかりましたがなんとか撮ることができました。今回の入賞は、顧問の先生方や親戚や家族のおかげだと思っているのでとても感謝しています。今後も高みを目指して頑張っていきたいです。

放送部

- テレビ番組部門 優秀賞「ここだけの景色」情報技術科2年 蝦名瑠夏
優良賞「キャンディー・ヤンキー」電気科2年 荒関麻鈴
- ラジオ部門 優秀賞「輝くために」電気科2年 白川颯人

《NHK杯全国高校放送コンテスト》テレビドキュメント部門準優勝!!



7月、東京で行われたコンテスト テレビドキュメント部門において、本校放送部作品「不器用な料理人」が各都道府県選出の190余の中から初めて準優勝となりました。

「不器用な料理人」それは、料理初心者の今藤美優さんがとん汁を作るまでを蝦名瑠香さんが追ったドキュメントです。

「何を伝えたいのか?」昨年12月、顧問の先生より何度も問われ練った企画。今年1月、りんごやじゃがいもの皮むき、目玉焼きや卵焼きの練習をはじめた彼女。

中央短期大学の先生に助言を求め、お母さんの指導を受け、5月に吹奏楽部20名の為にできあがったとん汁56杯。

これまでの先生の指導、部員の活動の成果が準優勝の形になりました。コンテスト期間中、東京在住の放送部OBの面々が毎日声をかけ力になってくれました。ラジオドキュメント部門も全国大会に出品されていて、表彰式に手が足りない嬉しい悲鳴をあげたそうです。

華道部 青森地区第27回学生いけばな競技会準優秀賞



電子科3年 岩淵 昇子

今年の学生いけばな競技会は中学生から大学生まで約130人が参加し、優秀賞5名、準優秀賞は23名でした。私が3年連続で賞をとることができたのは日々の少ない時間の部活動で先生方のアドバイス、部員同士のアドバイスなど楽しく部活動ができたからです。華道で学んだことを忘れずこれからも関わっていきたいと思っています。

平成28年度県新人戦結果

(団体ベスト8以上、個人3位以上)



ボクシング部 第5位 (学校対抗)

- 2年生の部
・ピン級 第1位 坂本 俊輔
・ライトフライ級 第2位 手塚 雅偉
・2部ライトウェルター級 第1位 佐々木 翔太
- 1年生の部
・ライトフライ級 第1位 手塚 懸胤
・バンタム級 第3位 古川 龍之介
・ライト級 第3位 秋田谷 柊馬
・ライトウェルター級 第1位 蝦名 稀麟
・ウェルター級 第3位 小枝 恭
- 女子の部
・ライトウェルター級 第1位 根井 星
- 敢闘賞・・・坂本 俊輔
○最優秀新人賞・・・手塚 懸胤



ボウリング部 第2位

- 男子学校対抗の部 第2位
男子二人チーム戦の部 第2位
田村駿丞 大室勝幸

ヨット部 第2位 (FJ級)

- 2位 青森工業 B
(奥崎泰地、小笠原蒼弥、佐藤亜弥斗、眞山健太)
3位 青森工業 A
(芳賀龍之介、山口耕人、田中皓大、佐藤僚太)

ラグビー部

第4位

- 1回戦 青森工業 19-17 十和田工・三沢商
準々決勝 青森工業 21-17 八戸工業
準決勝 青森工業 7-14 八戸西高校
3位決定戦 青森工業 12-56 三本木農業



柔道部 第1位 (個人)

- 男子個人100kg級 第1位 高谷星摩
男子個人73kg級 第1位 酒井和希



山岳部 第5位 (学校対抗)

- 救急法 個人 第3位 奈良 涼隆

テニス部 ベスト8 (男子団体戦)

- 2回戦 青森工業 3-0 金木高校
3回戦 青森工業 3-2 八戸西高校
準々決勝 青森工業 2-3 青森北高校

バドミントン部 ベスト8

- 2回戦 青森工業 3-1 青西
3回戦 青森工業 3-1 弘前東
準々決勝 青森工業 0-3 青森山田

陸上部 第5位

- 男子4×400Mリレー 第5位
相川廉 鹿内蓮太郎 虻川諒 小野寺

